



校友さんしや

2017
October
2017年
10月1日発行

Vol.
47

★産社校友会「ヤンゼネ年度代表者」の選任について★

開催報告

2017年2月18日(土)開催

in 奈良



さんしやサロン・ アフタヌーンパーティー

2017年3月4日(土)開催

in 福岡



さんしや 九州校友の集い

産社校友会同窓会
補助について

産業社会学部竹内新学部長
および関連役職者について

2018年3月3日(土) 約2年ぶりの京都での企画開催



SanShaサロン in 京都



— 華やかに軽やかに 春の昼餐会 — のご案内

産社校友会「ヤンゼネ年度代表者」の 選任について

立命館大学産業社会学部校友会(以下、産社校友会)は、毎年度の産業社会学部卒業生のうち、各専攻より1名ずつ合計5名を「ヤンゼネ(ヤングゼネレーション)年度代表」として選任しています。

このヤンゼネは、産社校友会古谷寛会長がその就任にあたって、「これからの校友会活動には、若手校友の柔軟な発想とその制度的運用の枠組みが必要である」として、直々に提案したもので、2009年度以来、現在までの8年間で合計39名を任命しています(2009年度は4専攻より4名を選任。2010年度以降は5専攻より5名を選任)。

2016年度の選任にあたっては、同年度卒業式挙行日の2017年3月21日(火、京都プライムホテルで開催された卒業記念パーティに、産社古谷会長、本田里美副会長が出席し、早川友浩さんはじめ合計5名の方にヤンゼネ年度代表の任を委嘱いたしました(委嘱者のお名前等については、下表をご確認ください)

ヤンゼネの方々には、これまで産社校友会、会長、副会長との懇談会へのご出席や、各種交流会企画等の諸活動への参加のほか、一部の方には産社校友会の常任幹事、幹事に就任いただいております。今後は、同年代の校友向けの交流・懇親等を主体的に企画・提案していただいたり、また後輩となる現役学生向けのキャリア形成支援企画などの講師役をお務めいただくなど、ヤンゼネ制度の実効性や産社校友会の諸活動におけるプレゼンス(存在感)をますます高めていく予定です。今後のヤンゼネ活動の展開にご期待ください。【事務局】

お名前	所属専攻名	所属ゼミ名
早川 友浩 さん	現代社会専攻	リム・ボンゼミ
皆山 大河 さん	スポーツ社会専攻	市井吉興ゼミ
川口 彩香 さん	人間福祉専攻	乾亨ゼミ
佐野 遼平 さん	メディア社会専攻	飯田豊ゼミ
中野 光 さん	子ども社会専攻	山下芳樹ゼミ



「さんしゃサロン アフタヌーンパーティーin奈良」が 和やかに開催されました。

2017年2月18日(土)



を担当いただきました。まるでジュエリーのような料理やスイーツが、まるでお花畑のように並び、見た目が麗しいだけでなく、その味も確かな逸品の数々に参加者は皆大喜びでした。

今回、参加者は総勢22名(来賓の林堅太郎名誉教授含む)とややこじんまりとした会ではありましたが、全員が円卓に着席しゆつくりと食事や交流を愉しむことができたこと、また途中に実施した交流ゲームの効果もあって参加者間の相互交流も進み、産社校友間の非常に密度ある交流が実現したパーティーとなりました。本企画の実現に向けて、諸々お骨おりにいただいた辻さんにあらためてお礼申し上げます。

今回は「Sancha Salon in 京都」華やかに軽やかに「春の昼餐会」と題する企画を、2018年3月3日(土)に京都プライムホテルにて開催します。応募含めた企画告知を本誌4ページに掲載していますので、ぜひともご確認ください。【副会長(梅野)】

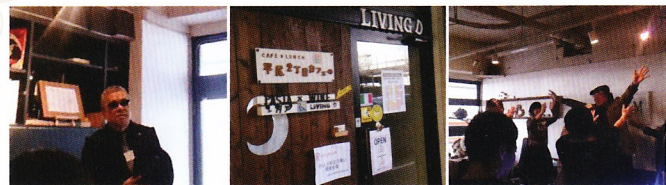
2017年2月18日(土)午後、「さんしゃサロンアフタヌーンパーティーin奈良」が開催されました。このパーティーの開催は、2013年度・14年度の京都、2015年度の名古屋に引き続き4回目であり、今回は日本有数のクラシックホテルである奈良ホテルを会場といたしました。パーティーに先立ち、同ホテルの執行役員営業本部副部長で産社校友である辻利幸さん(1978年卒)が案内人となって、参加者のみなさんを特別館内ツアーへと誘ってくださいました。重厚感あるロビーホールの趣ある設えや、国内外の要人・著名人の宿泊利用に関する数々のエピソードなど、一般未公開のお部屋等も含めてご案内いただき、参加者一同、そのスペシャル感に大いに感銘を受けました。

その後のパーティーでは、辻さんのご厚意により同ホテルの新進気鋭の若手シェフに特別に調理・アレンジ



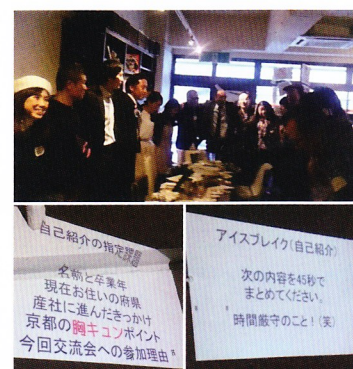
2017年3月4日(土)

「さんしゃ九州校友の集い in 福岡」が賑々しく開催されました。



2017年3月4日(土)午後、「さんしゃ九州校友の集い(九州産社校友交流会、通称九州産交)」が開催されました。この交流会は、多世代の産社校友が「産社」に学んだことを縁に大いに語り合い、密に交流することを趣旨に開催されたもので、2015年2月の熊本での開催以来、2回目の開催となりました。

今回の開催にあたっては、地元福岡において地域校友会活動に積極的に参加されている産社校友の久間康弘さん(1988年卒)、三上由佳さん(1996年卒)、渋谷朝之さん(1997年卒)に企画検討や参加者募集等の協力を要請し、開催場所についても産社校友原口大介さん(1995年卒)がオーナーシェフを務めるワインカフェ「LIVING」(福岡市中央区西鉄平尾駅近く)で開催するなど、徹底して「産社にこだわる」企画となりました。



当日は、来賓の林堅太郎産業社会学部名誉教授に加え、福岡、佐賀、長崎、熊本、大分在住の産社校友に加え、近畿地方からも九州出身者など総勢29名の産社校友が参加しました。うち2割程度は地域校友会活動も含めて、今回が初めての校友会参加という方がいらっしやいました。参加者の年齢層は20代から70代までと幅広かったものの、全員が産社学生時代のエピソードを交えた自己紹介を行ったことで、世代を超えた互いの共通点などが多数見つかり、非常に賑やかな交流が展開されました。なお、前回(第46号)の「校友さんしゃ」での告知記事を見て、原口オーナーシェフの現役学生時代中川勝雄ゼミの友人である中谷知隆さん(1995年卒)が、原口氏との22年ぶりの再会を期して、わざわざ和歌山から参加してくれたことも、参加者間で大きな話題となりました。当日13時にスタートした交流会は、二次会を経て三次会まで人数があまり減らないまま続き、22時に散会となりました。

なお、次回九州産交は2018年度中に開催されることが予定されていますが、それより以前に他地方においての開催を行うべく、現在産社校友会において鋭意準備中ですので、ぜひともご期待ください。【副会長(飯田)】

Check

産社校友会同窓会補助について

産社校友会では、校友相互の交流促進の支援を趣旨として『小集団クラス同窓会補助制度』を設けています。小集団クラスとは、産社在学時の「基礎演習」「プロジェクトスタディ」「演習」「専門演習」「卒業研究」などのグループ・集団を指し、現役学生時代にこれらに所属された校友の方々が同窓会を開催される場合に、産社校友会より右記金額の補助を行うものです。同一学年の開催だけでなく、複数学年の合同開催等も対象になります。

2017年度より、本制度について以下の通り運用の変更を実施しました。

◆「小集団クラス同窓会補助制度」による補助内容

参加者数	補助内容
50名以下の場合	1人2,000円を上限とし、かつ1会5万円を上限とする実費補助
51名～100名の場合	一律7万円の補助
101名以上の場合	一律10万円の補助

①参加人数6人(教員含むも可)以上の同窓会を補助対象とする(参加人数5名以下、または小集団クラスでない友人同士の集まりなどは対象外となります)。

②補助申請にあたっては、小集団クラス担当の教員の承認を条件とする(ただし、担当教員が物故者であるなど、承認を得ることが困難な場合は事務局にご相談願います)。

また、本制度の補助申請については、同窓会開催の事前・事後に本校友会所定の申請書および添付資料等の提出をお願いしております。(詳細については、産社校友会Webページ掲載の情報をご確認ください)

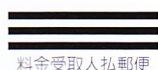
http://www.ritsumeai.ac.jp/acd/cg/ss/reunion/sub_page/sub.html

本制度利用申請の際は、上記趣旨をご理解いただいたうえでお手続きくださいますようお願い申し上げます。【事務局長(野村)】

【ご注意】同じ小集団クラスへの補助は年1回限りとなります。また、産社校友会において同制度の年間予算額を定めており(2017年度は50万円)、その金額に達した時点で受付終了となります。ご注意ください。

Check

きりとり線



料金受取人払郵便

京都北郵便局

承認

5011

差出有効期間

平成29年10月1日
から平成30年3月
31日まで

6038790

002

京都市北区等持院北町 56-1

立命館大学
産業社会学部校友会事務局
SanSha サロン in 京都 係



産業社会学部竹内新学部長 および 関連役職者について

有賀郁敏(あるがいくとし)教授の学部長任期満了に伴い、本年(2017年)4月1日付けで新たな産業社会学部長に竹内謙彰(たけうち よしあき)教授が就任されました。任期は2020年3月末日までの3年間で、学校法人立命館理事を兼任されます。竹内先生は1984年3月に京都大学大学院教育学研究科教育方法学修士課程を修了後、愛知教育大学教育学部を経て、2007年4月に本大学に着任されました。ご専門は、教育心理学、特別支援教育であり、1997年1月に博士(教育学)(京都大学)を取得されています。

なお、前学部長である有賀先生は、本年4月1日付で立命館大学副学長に就任されました。任期は2020年3月末日までの3年間となります。

また、本年7月21日付で、学校法人立命館理事長に森島朋三(もりしま ともみ)氏が就任されました。森島理事長は1986年3月に産業社会学部卒業の後、財団法人大学コンソーシアム京都を経て、1996年4月に学校法人立命館に事務職員として入職されました。森島理事長の任期は2020年7月20日までの3年間となります。【事務局】

約2年ぶりの京都企画開催

SanShaサロン in 京都

— 華やかに軽やかに 春の昼餐会 —

春爛漫の京都でランチブッフェ、そんな贅沢なひとときを産社校友のあなたにご家族、または産社学部創設50周年の時には会えなかった旧友と“華やかに軽やかに”

春の京都まで足を運んでみてはいかががでしょうか？

京都ブライトンホテルで産社校友の交流企画を開催いたします。

(今回より、産社校友以外(ご家族や他学部ご出身のご友人などの)ご同伴者様も参加いただけることになりました)

開催日時/2018年

3月3日(土)

12:00 ~ 14:00 受付開始 11:30(予定)

開催場所 京都ブライトンホテル(京都御所西側) カディーコート

会費 大人 3,000 円 / 1 人
中学生以下 1,000 円 / 1 人

定員 | 30名(先着順)

より多くの方にご参加頂くため、ご同伴者様の人数を限らせていただく場合があります。詳細は、産業社会学部校友会事務局に事前にご相談ください。

申込方法

2018年1月31日(水)までに本誌付属の下記応募はがき、または産社校友会HPより必要事項を記入してE-mailにてお申し込みください。定員に達し次第、受付は終了させていただきます。予めご了承ください。

「SanSha サロン in 京都」への参加申込方法について

申込方法：応募はがき、または産社校友会 HP より必要事項を記入して E-mail にてお申し込みください。応募はがきの場合は右記の応募はがき面を切り取り、必要事項をご記入のうえでお申し込みください。

編集室より

これまで、産社校友会が開催する企画については、参加者を産社校友の方のみを対象として、ご同伴者については対象外としておりました。先般、産社校友会役員会および開催翌日に開いたワークショップにおいて役員会で議論を行い、「配偶者や子ども、孫など家族も対象とすべきである。そうすることで産社や産社校友会のファンの裾野が広がる可能性がありうる」との意見で一致し、今回「ご案内の SanSha サロンからご同伴を受け付けることになりました。ご家族に限らず、他学部ご出身のご友人などもご参加いただけます。今後はさらに、若手役員の発想等により、ファミリー参加型の企画についても展開していこうと考えています。今後の産社校友会の活動展開にますますご注目ください(N)」

校友「さんしゃ」(立命館大学産業社会学部校友会会報)

2017年10月1日発行 第47号

<発行人>古谷 寛 <編集人>立命館大学産業社会学部校友会事務局

<発行所>立命館大学産業社会学部校友会 〒603-8577 京都市北区等持院北町56-1

TEL:075-465-8185(直) FAX:075-465-8196

E-mail:reunion@st.ritsume.ac.jp WEB:http://www.ritsume.ac.jp/acd/cg/ss/reunion

SanShaサロン in 京都

応募はがき

(ふりがな) ※お名前 (旧姓)

(ふりがな) □ 中学生以下 (歳)
ご同伴者様お名前 □ 大人

ご住所 〒 都 道 府 県

※卒業年

電話番号

E-Mail

※ゼミ名

◆応募締切り◆ 2018年1月31日(水) 消印有効

※定員に達し次第終了いたしますので、お早めにお申し込みください。

ご記入いただきました個人情報は本企画の抽選、または個人を特定しない統計情報以外では使用いたしません。

当日、上記※印の内容を名簿にして配布いたします。

記載に
同意する。 / 同意しない。

※どちらかに○をおつけください。



立命館大学産業社会学部校友会